



SESERAGI—MISHIMA ROTARY CLUB WEEKLY REPORT

クラブ
週報

2018～2019年度 RI会長 バリー・ランシ
RIテーマ インスピレーションになろう

クラブテーマ「あるがままの30周年＜Let it Be 30year＞
思いを込めて！」

副会長 山田定男 幹事 岡 良森

第1376回 例会
2018.7. 27(金)晴

司会:藤川智徳君 指揮:大庭靖貴君
ローターソング「それでこそローター」

事務所 三島市中央町4-9 小野住環中央町ビル2F
TEL.055-976-6351 FAX.055-976-6352

<http://www.seseragi-mishima-rc.gr.jp>

せせらぎ三島ロータークラブ

検索

例会場 呉竹

TEL.055-975-3210
毎週金曜日 第1・第3 夜間例会

会長挨拶

会長 石井司人君

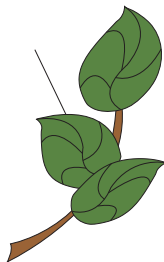


今週末に台風12号が、日本の中心に向かって北上中です、災害は備えあれば憂いなしですよ、コースは私も経験したことがないようなコースをとるようですが、大変心配しています。

今日から西日本災害支援の義援金を、メンバーに協力をお

願いしていますが、何卒よろしくお願いいたします。特に台風の進路が西日本地区に向かうのも気掛かりです。SAメンバーに新しくなりました、大庭君の初々しいタクト姿が印象的でした。これから頑張ってくださいね～。

アンチエイジング第4回の野菜は、夏野菜の王様のモロヘイヤです、原産地はエジプトで、紀元前から食べられていたそうです。何しろビタミン、ミネラルを豊富に含んでいるので、夏バテ防止や、老化防止にも関わる重要な食材と考えますね。いろんな食べるメニューがありますから、楽しんで召し上がって下さい。

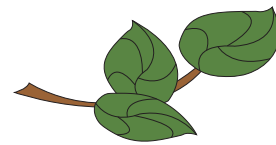


スマイルボックス

澤田 稔君:今年は30周年記念の年です。メンバーが減らないように熱中症でお迎えがきても頑張りますのでよろしくをお願いします。もう一人の人にも言うておきます。

石井司人君:今日もよろしくをお願いします。

小林 勝君:本日、会員増強・維持委員会の卓話です。よろしくをお願いします。



出席報告

	出席総数	出席率	メイクアップ	修正出席率
前々回	26/32	81.25%	28/32	87.50%
今回	23/32	71.88%	会員総数	35名

欠席者

あなたが見えなくて残念でした。

石井(邦)君、篠木君、杉山君、鈴木君、田中君、土屋君、中本君、山本君、渡邊君

(*出席免除会員の欠席者 大房君、片野君、兼子君)

7月14日富士吉田市民会館で2620地区「会員増強、維持セミナー」に石井会長と私会員増強委員長小林と参加してまいりました。

当日は3連休の初日で御殿場から渋滞で開会点鐘にギリギリに間に合いました。

講師はふじさわ湘南RCの相澤パストガバナーです。RCに新会員を勧誘するには、まず最大の社会奉仕活動「ポリオ撲滅キャンペーン」を世界的に行っている団体であることをアピールしなさいとのことでした。

また以前から言われていますが、退会者を出さないことが

会員増強に最も重要であるとのことですので、親睦委員会にも協力して頂き例会はもとより家族会も楽しい企画をお願いしようと思います。

そこで今回の卓話は会員の皆様に、新会員の紹介をお願いするのですが、5つのテーブルを同業種の会員にお集まり頂き、業界の中から紹介者を探して頂く事にしました。

皆様から頂いた大切な紹介情報を無駄にすることなく石井会長、岡幹事に協力していただき40人以下は1名以上の増員の目標を達成できるよう、頑張りたいと思います。ご協力お願いします。

ROTARY NEWS

王女、3人の首相、元大統領夫人が出席したトロント大会に、世界中から25,000人以上が結集。ロータリーの活動成果を祝い、将来のビジョンを描きました。

「インスピレーション いたるところに」をテーマにトロントで開催された第109回ロータリー国際大会。世界中から25,652人のロータリアンが一堂に会し、親睦と国際性を楽しみました。会場で旧友とばったり再会したり、友愛の家で新しい人と出会ったり、本会議での講演で感動したりと、それぞれが特別なひと時を過ごしました。

4日間にわたる今大会で講演したゲストはいずれも、ロータリーの活動成果を称賛し、さらなる活動と協力を促しました。英国のアン王女は、ポリオ撲滅活動で中心的な役割を担うロータリーに感謝を表明。また、ローラ・ブッシュ元米大統領夫人は、早期児童教育の支援をロータリアンに呼びかけました。

国連の「持続可能な開発目標」の立案に貢献した一人、ニュージーランドのヘレン・クラーク元首相は、イアン H.S. ライズリーRI会長と対談し、ジェンダーの平等と、環境、貧困、飢餓、平和の重要な関連性について語りました。

また、ハイチのジャック・ガイ・ラフォンタン首相がビデオメッセージを寄せ、その後でロータリーとハイチ政府の水担当局の提携プログラム「HANWASH」の立ち上げが発表されました。これは、同国の水・衛生の課題に取り組む活動です。

さらに、カナダのジャスティン・トルドー首相にロータリーから「ポリオ撲滅推進功労賞」が贈られました。トルドー首相は受賞演説の中で、ポリオ撲滅のために各国政府と協力するロータリーへの感謝を述べました。ポリオを撲滅する闘いにおいてロータリアンが極めて重要な役割を担っていると首相は語り、「私たちは協力して、ポリオ撲滅を実現させます」と述べました。

大会の正式な開幕に先立ち、6月22日(金)には「ロータリー平和構築サミット」も開かれました。サミットではテレライ・トレントさんの講演に加え、経済平和研究所(Institute for Economics and Peace)とロータリーとのパートナーシップにスポットライトが当てられました。

月曜日の本会議では、ロータリーのジョン・ヒューコ事務総長とUNICEF USAの会長・CEOであるキャリル M. スターン氏が講演し、自身の体験について語りました。両者とも、戦

争中に両親が難民としてヨーロッパを逃れました。そのほかの本会議では、ロータリーの6つの各重点分野に関するゲスト講演がありました。

奉仕の理念を掲げるロータリーの大会とあり、本会議や分科会では、より大きな成果をもたらす奉仕プロジェクトの数々の機会やアイデアが紹介されました。

教育用玩具を専門とするリーブフログの共同創設者で、ラモリンダ・サンライズ・ロータリークラブ(米国カリフォルニア州)に所属するジム・マーグラフさんは、アフガニスタンの女性たちに読み書きを教えるために自社が開発した教育用タブレットのダリー語とパシュトー語版を紹介。また、奉仕の推進を目的にバーチャルリアリティ技術を開発するため、同社とロータリーが協力してきた経緯について話しました。

ロータリー元国際親善奨学生で、ヒューストン・ロータリーEクラブ(米国テキサス州)に所属するアイシス・メヒアスさんが水と衛生の重要性を強調したほか、ロータリーの元青少年交換学生であるジェーン・ネルソンさんがビジネス界との協力を通じてロータリーが経済発展の分野に影響をもたらす方法を説明しました。

ロータリー創設50周年にあたる今年の大会では、元気なエネルギーにあふれる若者たちの姿も多く見られました。

2019年ハンブルグ大会のジョン T. ブラウント委員長は、エア・カナダ・センターに来た人たちと一緒にセルフイーを撮り、メッセージを添えて友だちに送信するよう促しました。「トロントで最高のひと時を過ごしています。来年のハンブルグ大会でも皆さんと会えることを願っています」

水曜日には、来年のハンブルグ(ドイツ)国際大会にちなみ、カナダのバンドFab Foureverがビートルズの歌をドイツ語で披露。また、16人の元会長とともにステージに上がったバリー・ラシン次期会長が、次年度のテーマ「インスピレーションになろう」について語りました。最後に挨拶したライズリー会長も、「私たちがインスピレーションになることが大切」と呼びかけました。

2019年ロータリー国際大会は、6月1～5日、ドイツのハンブルグで開かれます。